

SHIN-ONSEN-CHO

[2014 町勢要覧]



新温泉町

海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷
—安らぎと憩いの空間 新温泉町—

町のシンボルとして町花・町木・町鳥を制定

[平成24年12月25日制定]

— 町の花 —

見る人に温かさや感動を与えるサクラ
山野にひっそりと咲く清楚なササユリ



サクラ



ササユリ

— 町の木 —

浜坂海岸を特徴づける力強いクロマツ
四季を通じて彩りを楽しめるモミジ



クロマツ



モミジ

— 町の鳥 —

海岸に営巣し長く愛されるイワツバメ
春を待つ住民に希望を与えるウグイス



イワツバメ



ウグイス

創

「創」

次世代に遺すべき新しいま
ちを創造していく新温泉町
の思いを託しています。
書は新温泉町出身の前衛書
家、宇野雪村によるもの。

自然と歴史・文化から 生まれた資源 それを活かした 新たなまちの創造

平成17年10月に浜坂町と温泉町の合併により誕生した新温泉町。

海と山に囲まれた自然環境は心癒す美しい四季と、

「湯の町」としての情緒にあふれています。

また麒麟獅子舞・菖蒲綱引きなどの先人の築き上げてきた文化は、

国・県重要無形民俗文化財に指定され、

伝統文化として今日まで受け継がれています。

こうした中、新たな時代を迎え、

住民が安心して暮らしていける住み良い環境づくり

「海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷」

「安らぎと憩いの空間 新温泉町」の実現に向け、

資源と人との連携が重要となってきました。

新たな歴史を築くため自然との共生を柱に、住民の力を結集して、

過去を礎に次世代へ繋ぎ遺していくべき

新しいまちの創造を始めていきます。

新温泉町町民憲章

私たちのまちは、日本海の形成を物語る
壮大な山陰海岸、緑の山河、日本有数の
温泉など豊かな自然に恵まれ、自然と
共生しながら文化を育んできました。

私たちは、先人たちのたゆまぬ努力に
学び、恩愛の精神で絆を深め、夢と温も
りのあるまちづくりをめざし、この憲章
を定めます。

一、多くの人と交流し、

一人ひとりが大切にされるまちをつくります。

一、支えあいの輪を広げ、

笑顔とやすらぎのあるまちをつくります。

一、豊かな資源と産業をいかし、

人が輝く元気なまちをつくります。

一、ふるさとを愛し、

地域の宝を守り育てるまちをつくります。

一、みんなで参加・行動し、

夢がふくらむまちをつくります。

04	特集 海	山陰海岸国立公園
07	特集 山 温泉	水ノ山後山那岐山国定公園 湯村温泉・浜坂温泉郷
10	[歴史・文化]	歴史・文化の伝承と創造
14	[産業]	地域資源を活かす
18	[観光]	癒しとやすらぎの空間
20	[特産]	自然の恵みを活かした逸品
22	[教育]	こころ豊かに夢を育む
24	[医療・福祉・保健]	健康で温もりあふれる安心な地域
26	[交流]	交流と連携で活力を高める
28	[生活環境]	利便性とうるおいのある環境
29	[行政]	自立と協働の自治体経営
30	[議会] [ごあいさつ] [マップ]	

Contents

海と、



Living with The Sea

Shin-onsen-cho faces the Sea of Japan and has prospered as a fishing port and, in earlier times, was also used by cargo vessels. In recent years, the sea has provided natural resources and supported a flourishing tourist industry with swimming and other marine activities.

We appreciate the value of the sea to our community and recognize our responsibility for environmental conservation for the benefit of future generations.

新温泉町の海は、昔から漁業や廻船業を通して栄え、山陰屈指の港として交流が活発に行われてきました。さらに近年では魚介類などの豊富な自然資源と海水浴やマリンスポーツなどの観光業が人々の生活に多くの恵みと潤いを与えてくれています。人と自然との共生が求められている現在、新温泉町では、この豊かな恵みと潤いをもたらす海に感謝し、後世に引き継いでいくために、環境保全や資源確保などのさまざまな取り組みを行っています。



海のもつ造形美と癒しの力

西は岸田川河口から東は町境の伊笹岬までの区間にある「名勝・天然記念物但馬御火浦」を擁す新温泉町の海岸線は、昭和38年7月に山陰海岸国立公園に指定されています。山陰海岸の大部分は山地が直接海に接しているため、鋸岬にある旭洞門や、釣鐘洞門、三尾大島などのような、荒波により浸食されてきた奇岩や洞門といったさまざまな自然の造形美が随所に見られます。

また、近年は海そのものが持つ癒しの力が注目が集まっています。海の青色は常に多くの人に安らぎを与えることで、感情的な興奮を抑え緊張や圧迫感を和らげる沈静効果があるといわれています。さらに、潮風に含まれるマイナスイオンは、私たちの副交感神経に働き、心や体を落ち着かせてくれます。



獅子の口



孔雀岩



山陰海岸ジオパークの推進と松林の環境保護活動

「ジオパーク」とは、科学的に見て特に重要で貴重な、あるいは美しい地質遺産を複数含む一種の自然公園です。地質遺産保全と地球科学普及に利用し、地質遺産を観光の対象とするジオツーリズムを通じて地域社会の活性化を目指しており、ユネスコの支援のもと、欧州や中国などで積極的に取り組まれています。山陰海岸においても、京都府、兵庫県、鳥取県の民間団体や行政機関が連携しながら、特徴的で魅力的なジオツーリズムを展開し、地域経済の活性化と環境保全・教育の推進を図り、持続可能な地域社会の発展につなげていく活動を進めています。山陰海岸ジオパークは、この活動が評価され、平成22年10月に世界ジオパークネットワークへの加盟が認定されました。今後も体験学習やガイドツアーなどを通じ、官民が一体となって積極的な活動を展開していきます。



稚苗の植樹活動



松林での県立浜坂高等学校生徒による吹奏楽コンサート

また、浜坂県民サンビーチの南側に広がる約4ヘクタールの「松の庭（クロマツ林）」の美化、保護活動も行っています。住民ボランティアなどによる美化活動が、30年以上も地道に続けられています。近年ではこの美しく整備された松の庭を舞台に、県立浜坂高等学校による絵画・書道展や吹奏楽コンサートが開催されるなど、住民の憩いと安らぎの場として親しまれています。平成15年からは、保安林改良事業として稚苗を植樹し、行政、住民が一体となった保護活動を展開しています。



松の庭



湯村温泉観光交流センター薬師湯



湯村温泉・荒湯



七釜温泉ゆーらく館



上山高原ふるさと館



岸田川



ブナ苗木の植付け



荒湯での野菜の湯がき

温山と泉と。

Mountains and Hot Springs

The town has two main rivers, the Kishida River and the Kuto River. These rivers flow from the broadleaf and beech forests of the Ueyama-Heights and other mountains, carrying rich minerals and nutrients to the sea, benefiting the marine resources. The Yumura and Hamasaka hot springs are enjoyed by towns people and visitors alike. Our town aims to utilize its natural resources in an effective and sustainable manner.

新温泉町には、氷ノ山後山那岐山国定公園に位置する上山高原をはじめとした雄大な山々を源流とした岸田川や久斗川などの河川があります。これらの河川には上山高原などに広がるブナ林などの広葉樹から流れたミネラルなどの豊富な栄養素が溶け込み、沿岸地域や日本海を潤しています。また、湯村温泉や浜坂温泉郷に代表される県内でも有数の温泉資源があります。地域住民は、昔から身近な温泉を生活の中にさまざまな形で取り入れてきました。新温泉町では、これらの資源を有効的に、また持続的に活用しています。

川、海を守る 上山高原の保全、再生活動

氷ノ山後山那岐山国定公園に指定された標高750ㄱ900メートルの高原状の台地に位置する上山高原。この一帯は、ブナの原生林やススキ草原が広がり、イヌワシやツキノワグマ、ザゼンソウやタジマタムランソウなどの希少動植物が生息・群生する地域として、学術的にも価値の高いエリアです。多くの自然が残る小又川渓谷や霧ヶ滝溪谷などを源流とする岸田川では、全国最南端の地としてサケの回帰事業が実施されています。さらに、周辺集落では柵田や但馬牛の飼育、山の食材を使った郷土料理など、山間部特有の生活文化を形成しています。

そして、上山高原の原風景の保全、再生活動に取り組んでいるのが、平成18年夏にオープンした上山高原ふるさと館を拠点とし、地元住民が主体となって運営する「特定非営利活動法人・上山高原エコミュージアム」です。スギなどの人工林を伐採してブナ苗木の植付けによって落葉広葉樹林にし、またササ密生地や灌木林を伐採してススキ草原に変える活動を行っています。



小又川渓谷

ます。さらに上山高原や地元集落周辺にある有形・無形の資源を活かしての体験型プログラムを実施するなど、町内外との交流も図っています。

こうして徐々に復元されているブナをはじめとした落葉広葉樹は水源涵養林として山の保水機能を向上し、河川への流量の調節を果たし、またススキ草原はイヌワシの狩場となるなど草原性動植物の生息群生地になっています。

温泉資源の有効活用

湯村温泉の歴史は古く、嘉祥元年（848）、慈覚大師により開湯されたと伝えられています。以来、泉量・泉質ともに少しの衰えも見せず、湯治客や地元住民を癒し続けています。摂氏98度の荒湯をはじめとした約60ヶ所の源泉の総湧出量は毎分2300リットルを誇り、その豊富さから旅館のみならず一般家庭にも配湯されています。さらに、この高温で湯量豊富な温泉を無駄なく活用するための方策として、温泉を利用したバイナリー発電の導入を検討しており、これまで観光資源や生活の一部であった温泉を新たなエネルギーとして活用することで循環型のまちづくりを進めています。

また、昭和53年発見の浜坂温泉、昭和44年発見の二日市温泉、昭和30年に発見された七釜温泉はいずれも温泉利用の効果が十分に期待され、かつ健全な温泉地として優れた条件を備えていることから、平成3年に県下初の国民保養温泉地「浜坂温泉郷」として指定

されました。なかでも浜坂温泉は、住民の健康増進を図るため、昭和56年に全国初の「国の省エネルギー事業」の指定を受け、各家庭を全長18キロメートルのバイブラインでつなぐ、みんなげ（げん家）湯の町システムを整備しました。これにより、「蛇口をひねれば温泉」という夢のような話を実現しました。一般家庭に給湯された数も全国一の配湯戸数を誇っています。浜坂温泉郷では、旅館や入浴施設はもちろん、病院、介護老人保健施設、保養施設に給湯し、温泉を利用した健康づくりを進めています。



浜坂温泉の泉源



一般家庭への配湯(浜坂地区)

歴史・文化の伝承と創造

新温泉町には連綿と続く祭りや伝統芸能、貴重な文化遺産があります。これらは地域住民の手によって守られ、受け継がれてきたものであり、私たちのかけがえない財産です。

受け継がれる祭り、伝統芸能

新温泉町の中でも特に大きな例祭りが、但馬三大祭の一つとして毎年7月に開催される川下祭り（川下祭）です。起源は江戸時代中期にさかのぼります。この祭りは当時、豊岡・京極藩の管轄であった浜坂が天領になったのを機に始められたと伝わり、京都の祇園祭の影響を色濃く受けているともいわれています。当日は、香美町から新温泉町、鳥取県東部にかけてのみに見られる全国的にも珍しい麒麟獅子舞が奉納されます。

川下祭り「神輿巡幸」



川下祭り「麒麟獅子舞」

また、町中を神輿や鉾、神など総勢400人が練り歩く神輿巡幸や、御旅所で奉納される浦安の舞などがあります。祭りのクライマックスには約3500発の海上打上げ花火が上がります。



川下祭り「浦安の舞」



夢人 コラム1



丹土はねそ踊り保存会
田淵 明夫さん

丹土はねそ踊りは盆踊りの合間に踊ります。小太刀やなぎなたなどを手に2、3人が組になって演じる踊りで、六方を踏む所作や音頭の芸類などは歌舞伎に由来するといわれています。

音頭、太鼓、囃子、踊りと四つの役割がありますが、最も難しいのが音頭です。現在一人しかおらず、後継者の育成が課題となっています。

保存会の設立は1937年です。戦後は青年団が主体となって活動し、青年団の解散後もそのメンバーが中心となって保存会を引き継ぎました。保存会は大人のみ構成になっていますが、夏祭りと牛まつりの際には小中学生も一緒に練習します。この郷土芸能を通じた子どもの育成と地域への貢献が認められ、第28回「兵庫県ふるさと文化賞」を受賞しました。

これからも次代を担う子ども達に郷土の文化を伝えていくことが私達の使命と思っています。



丹土はねそ踊り (県指定重要無形民俗文化財)

これら数々の祭りや伝統芸能には、先人の五穀豊稔や無病息災、雨乞いなどの切なる願いが込められています。新温泉町では、その思いを受け継ぎながら各保存会が中心となって伝統芸能の保存、継承活動が行われています。



久谷ざんざか踊り (県指定重要無形民俗文化財)



但馬久谷の菖蒲綱引き (国指定重要無形民俗文化財)



海上傘踊 (町指定無形民俗文化財)



湯村の火祭り (町指定無形民俗文化財)



湯村の菖蒲綱引き (町指定無形民俗文化財)

Our traditions, cultural heritage, festivals, and performing arts have been handed down in this area for generations. These traditions are greatly treasured by the people of our community.

楞嚴寺 (県・町指定文化財を所蔵)



善住寺「木造阿彌陀如来坐像」(県指定重要有形文化財)

新温泉町には住民によって長年大切に守られてきた文化財が多く存在します。平安時代初期に造られたとされる相応峰寺の国指定文化財「木造十一面観音菩薩立像」をはじめ、県指定文化財としては、正福寺の「木造不動明王立像」や善住寺にある室町時代初期の一木造り「木造阿彌陀如来坐像」、正楽寺の「鯛口」などがあります。

その他、南北朝、室町時代の貴重な書物が所蔵されている楞嚴寺や泰雲寺にある樹齢推定250年のしだれ桜、江戸時代の廻船を知る民俗資料として価値の高い為世永神社「船絵馬」など、どれもが町の歴史に欠かせることのできない貴重な文化遺産となっています。

住民により守られてきた、町が誇る歴史文化遺産



先人記念館以命亭



泰雲寺しだれ桜 (県指定天然記念物)



正福寺桜 (町指定天然記念物)



正福寺「木造不動明王立像」(県指定重要有形文化財)



相応峰寺「木造十一面観音菩薩立像」(国指定重要文化財)



正楽寺「鯛口」(県指定重要有形文化財)



牛峰寺「蔵王権現像」(町指定有形文化財)



為世永神社「船絵馬」(町指定有形文化財)

歴史文化

History and Culture

東京高等師範学校時代に機関誌「明星」に作品を発表し与謝野鉄幹や晶子らと共に活動した他、多くの短歌や詩、童謡の作詞、作曲なども手がけました。諸寄の浜、基幹集落センター、春來峠には彼の歌が刻まれた石碑が立っています。

前田純孝 (1880-1911)

東の啄木、西の翠溪(純孝と並び称された)



加藤文太郎 (1905-1936)

単独登山のバイオニヤ

文太郎が登山に開眼したのは、神戸の三菱内燃機製作所での勤務時代で、その後、日本アルプスをはじめ40数回の単独登山を成功させ「単独行の加藤」「不死身の加藤」と呼ばれました。日本山岳史に不滅の足跡を残した文太郎の生涯は、後に新田次郎氏の名作「孤高の人」で紹介されています。



若くして書壇に頭角をあらわし、戦後は中国古典や文房古玩を研究しながら日展の特選審査員や大東文化大学の講師も務めました。さらに「奎星会」会長として書道に関する著書の出版や後継書道家を輩出するなど、書道会の発展にも尽力しました。

宇野雪村 (1912-1995)

現代書道の先覚者



郷土が育んだ多くの先人

新温泉町は多くの優れた先人の故郷です。才能溢れた明治期の歌人・前田純孝や単独登山家の加藤文太郎、前衛書道家の宇野雪村をはじめ、各分野から優れた人材を輩出しています。

郷土が育んだ先人の活力溢れた人間像は新温泉町住民の誇りです。新温泉町では、現代に暮らす私たちが、先

人について学ぶことを生涯学習の一つに位置づけています。七釜屋森家の屋敷を改修し、先人に関する多くの史料を展示する浜坂先人記念館「以命亭」では、そんな時代を先駆けた先人たちの足跡を辿ることができます。また新温泉町では、先人の功績を顕彰すると共に、次代を担う人材の育成、短歌や書道の普及を目的に、「全国公募「前田純孝賞」、「宇野雪村賞」全国書道展を開催しています。



畑ヶ平大根



二十世紀梨



地域資源を 活かす

Our most prominent industries are coastal fishing and fish processing, stock farming, and agriculture. Shin-onsen-cho boasts Japan's top catches of pine needle crabs and firefly squid as well as producing other high quality fish products (Chikuwa), beef (Tajima Beef), radish (Hataganaru Radish), pears and rice.

水揚量日本一を誇る松葉ガニとホタルイカ。代々受け継がれてきた閉鎖育種法により守り培われてきた但馬牛。高原の冷涼な気候を利用して作られる畑ヶ平大根。いずれも町を支える重要なブランド産品となっています。

時代と共に発展してきた、
漁港や大型漁船での漁

新温泉町の沿岸及び沖合域は、対馬暖流が流れる好漁場をなし、沖合底びき網漁業、沖合・沿岸イカ釣り漁業を中心に漁が行われてきました。今では、松葉ガニやホタルイカ、スルメイカ、ハタハタなどで全国有数の漁獲量を誇っています。

町内には、浜坂漁港・諸寄漁港・居組漁港・三尾漁港・釜屋漁港の5港があります。中でも浜坂漁港は戦後、漁民・町民の長年の悲願であった新漁港の修築工事が昭和23年10月、兵庫県によって始められました。以後、港やセリ市場・製氷貯蔵庫など漁港関連施設の新設拡充が図られ、日本海沿岸でも屈指の漁業基地となっています。

こうした背景の中、新温泉町では、水揚げされた松葉ガニをはじめとした季節ごとの豊富な魚介類が地元はもちろん京阪神、関東方面にまで運ばれ消費されています。また、新鮮な素材を使つての加工業も盛んで、港周辺の加工所では「ちくわ」や「はんぺん」などの練り物や、スルメ、小魚やワカメの乾物などが生産されています。



浜坂産松葉ガニの証明となる青いタグ



夢人
コラム2

浜坂兵庫北錦
生産部会
小谷 正美さん

酒造好適米「兵庫北錦」と但馬杜氏の里「新温泉町」はとてもよい相性です。但馬に点在していたほ場を、最北に位置する新温泉町に集中させることになってから1等米の比率が伸びました。作付けは全て酒蔵との契約栽培で、地元の香住鶴が主な出荷先です。

兵庫北錦はすっきりとした味わいのおいしいお酒になりますが、心白が大きく柔らかいため繊細に扱わなければいけません。この特性をよく知り活かすことができる酒蔵に、私たちが丹精して作ったお米を納め、おいしいお酒を造ってもらうことで、お米の評判が上がるという循環ができるよう努めています。

近年、国内外で日本酒のブームが起こっているようです。和食の無形文化遺産への登録や各行政の日本酒乾杯条例なども追い風に、地元と共に発展する部会でありたいと思います。

畑ヶ平大根、二十世紀梨や 酒米などの重要な農産物

新温泉町の最南端、鳥取県境にある扇山を望む標高1000メートル辺りに広がる畑ヶ平高原では、大根の栽培を行っています。ち密な肉質に加え適度な歯応えと甘みが特長の「畑ヶ平大根」は、8月中旬から10月初旬までのシーズン中に約950トンを京都や神戸に出荷し、市場からも高い評価を得ています。また、山の傾斜面を利用した梨栽培も行っており、みずみずしさが魅力的な二十世紀梨の出荷は8月下旬から9月中旬まで続き、主に神戸に出荷しています。その他にも、水稲を中心にキャベツやネギ、小豆（美方大納言）も生産して

います。

平成17年には、以前から酒米づくりに取り組んできた浜坂地域で技術と品質の向上を目的に生産者が「浜坂兵庫北錦生産部会」を結成しました。地元酒造会社と契約栽培し、酒屋に信頼される安全・安心で良質な酒米を安定供給することにより、県内でも有数の酒米の一大産地化が進んでいます。



閉鎖育種法により守られ、
培われてきた伝統の但馬牛

植樹や山の整備により、
次世代に夢を繋ぐ

新温泉町は但馬牛の産地として有名です。古くは水田耕作や輸送に利用された役牛、そして近代では肉用牛として丹念な飼育が行われてきました。飼料には野草が用いられている但馬牛の特長は、骨細で皮下脂肪が少なく霜降りになりやすいことです。また、遺伝能力が強く、種牛の資質にも恵まれています。

そして「あつた蔓」（中土井系）や「ふき蔓」（熊波系）などの系統群は、他牛の血統を混ぜない閉鎖育種法により守られ培われてきました。これは周囲を1000メートル級の山々で囲まれた但馬地方では峠を挟んでの往来が困難であったため、牛の交配も必然的に地域内で行われるようになったためだといわれています。

現在、但馬家畜市場で開催される子牛のセリ市には、全国から多くの肥育関係者が訪れます。セリ当日には、子牛の首にジャコを入れたおひねりを付ける優しい風習が残ることからも、牛が人々にとってかけがえない家族同様の存在だということがうかがえます。



子牛のセリ市

近年、山林の荒廃が進行する中、地域住民は山の再生に向け、継続的育林管理を行っています。戦後植林されたスギやヒノキなどの針葉樹林の除伐や間伐、さらには水源涵養林や動物植物の生息地としての役割を担うブナやケヤキなどの広葉樹林の植樹などを行っています。現在では、林業による地場産業の掘り起こしや特用林産物の生産だけでなく、森林の有する健康増進、保養、レジャー的活用面に着眼し、総合的に整備を行うことが求められています。



夢人 コラム3



ファッション
デザイナー
岡本 剛二さん

近年の通信技術や運輸・交通の飛躍的な進歩により、田舎でも起業や情報発信が可能になってきましたので、大好きな故郷のために何かできることがあるはずと帰ってきました。

ここには緑豊かな自然を始め、伝統技術や地方文化など都会にないものがたくさんありますが、残念ながら効率の良さを求めて切り捨てられたものも多く、過疎化の原因にもなっています。小規模ながら地域に貢献したいとの思いで、地元の特産物である但馬牛の皮革を使ったジャケットを作りました。これからは服飾デザインとの融合が可能な加工技術や原材料などをもっと取り入れたいと思います。

今までに培ったデザインのスキルを活かせるような地域活動として、地元の高校生と一緒に巨大迷路やアート作品などを作りました。これからも継続し広げていきたい活動です。

商工業の振興

各産業の技術や特色を生かし、
地域の活性化を目指す

新温泉町では、地元事業者が中心となって商店街活性化のためにさまざまな事業を展開しています。温泉地域では兵庫県の「まちなか振興モデル事業」を活用し、空き店舗に飲食店を誘致したり、地元が誇る但馬牛を使った新たな名物料理「愛しテールラーメン」を開発するなど、温泉街の活性化に向けた新たな取り組みを進めています。また、夏の荒湯天狗まつりは地域住民が



荒湯天狗まつり



愛しテールラーメン

総出で開催するイベントとして定着しています。浜坂地域でも商工会による納涼祭や特産品展などのイベント時に空き店舗を活用し加工品や農産物の販売を行っています。このように個性・独創性のある商店街づくりを進めながら農林水産物や加工製造品、観光関連産業などとの連携を強化し、地域内の経済波及効果を高めています。こうした活動の他、産業振興策と合わせて、各産業の後継者確保や担い手の育成、若者の定住促進を目指し、雇用対策の充実、U・J・ターン受け入れ体制の拡充を図っています。

地域の伝統食の特産品化と 「地産地消」活動

三尾地区では、住民グループが地元の食材を生かした新たな特産品の開発に取り組んでいます。同地区では海が荒れて出漁が困難になる冬場の保存食として、スルメイカやカワハギなどを塩やこうじに漬け込んで発酵させる「なれずし」を作る習慣があり、地域に古くから伝わる食文化を新たな特産品として商品化し販売しています。

また、再び注目されていることに「地産地消」があります。地域で生産された農産物や水産物をできるだけ地域内で消費することで、地域経済の活性化と住民の郷土愛、伝統食文化を継承するというものです。新温泉町でも各地区で定期的に朝市を開催し、生産者が新鮮な産物や加工品の販売を行っています。さらに小中学校の給食にも活用し、食育を促進する役割も担うなど、地域が一体となった取り組みを展開しています。

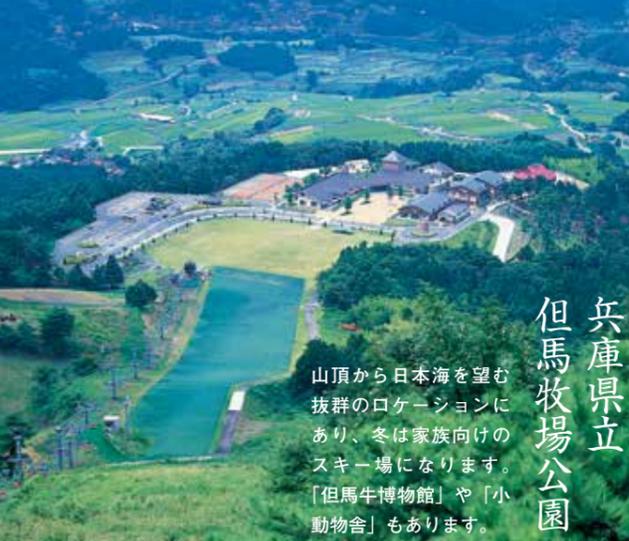


いかなれずし(三尾地区)

とちもちづくり
(久斗山地区)



農産物朝市(浜坂朝市婦人会)



ログハウス カナダ

カナダから直輸入された木材を使用した、年間を通して利用できる本格的なログハウス。キッチン用品も完備され、お風呂は天然温泉です。



兵庫県立 但馬牧場公園

山頂から日本海を望む抜群のロケーションにあり、冬は家族向けのスキー場になります。「但馬牛博物館」や「小動物舎」もあります。



シワガラ

洞窟の中からはしか見ることの出来ないシワガラは、名勝・小又川溪谷の中でもひととき神秘的な雰囲気醸す、落差約10mの滝です。



山陰海岸ジオパーク館

山陰海岸の地層模型をはじめ、ジオサイト（地質遺産）の玄武岩や安山岩などを展示。また、歴史・自然などさまざまな分野の体験学習もできます。



「松籟庵」案内所

約100年前に建築された古民家を改装した観光案内施設。かつて地域の主要産業であった縫針の歴史や蓄音機の展示も行っています。

癒しと やすらぎの 空間 観光

Shin-onsen-cho offers an therapeutic environment for people who want to relax. Visitors have long enjoyed the benefits of our town's beautiful sea, mountains and hot springs.

田君川の バイカモ群落 (5月~8月)

清流にしか自生しないキンポウゲ科・水中生の多年草です。田君川のように標高10数mの水域に群生するのは大変珍しい。



遊覧船「いわつばめ」で「名勝・天然記念物但馬御火浦」等の海岸線めぐりを。船からの探勝は数々の奇岩、洞門が間近に迫り、見応え十分。

但馬海岸 遊覧船・奇岩巡り



山陰海岸国立公園に指定された海岸では海水浴やマリンスポーツを、また浜坂県民サンビーチに隣接する松林ではキャンプを楽しめます。

浜坂県民 サンビーチ



緑に囲まれた温泉リゾート施設。洞窟や滝風呂など水着での混浴露天風呂や、室内の泡風呂や寝湯、かぶり湯などの健康風呂があります。

リフレッシェスパーク ゆむら



夢千代像

荒湯を望める春來川のほとりに立ち、「恒久平和を祈る」と書かれた台座は被爆地・広島市より寄贈されたものです。

湯村大根物語

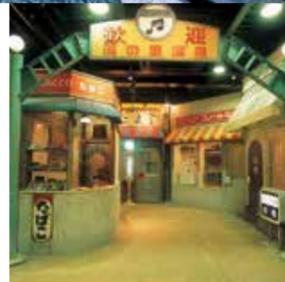
「ふれあいの湯(足湯)」

荒湯前の足湯で気軽に温泉情緒に浸れます。川沿いには著名人の手形が展示された「ふれあい手形散歩道」が整備されています。



湯村温泉博覧館 「夢千代館」

「夢千代日記」の世界が再現された館内には女優・吉永小百合さんゆかりの品々が展示されています。1年後に届く「夢てがみ」も好評です。



おもしろ 昆虫化石館

展示される化石の数は、海上地区で採取された昆虫化石や世界各国の珍しい化石を合わせ、約260点あります。



七釜温泉 ゆーらく館

「こたつ要らず」と呼び親しまれている七釜温泉の天然かけ流しの外湯。名物・釜風呂の他、特産品の販売なども行っています。



ユートピア浜坂

大浴場やパイプラー風呂、ジェット風呂があり、トレーニング室や研修室も完備。付近には浜坂温泉の源泉があります。



湯村温泉 ライトアップ

照明デザイナーの石井幹子さんプロデュースにより、日没と共に森下橋やふれあい手形散歩道、正福寺などが照らされます。清正公園の「夢」文字のライトアップも幻想的。

杜氏館

但馬杜氏の里として、杜氏の歴史や文化について学ぶことができます。樽や酒袋などの展示の他、酒造りの工程が映像で流れるコーナーもあります。



春來そば

そば処春來「てっぺん」では、地元産そば粉100%でつなぎを一切使わない昔ながらのそばを提供しています。そば打ち体験もできます。



冬の味覚の 代表格

松葉ガニ(ズワイガニ)
カニすきやカニ刺し、焼きガニ、茹でガニなど料理例はさまざま。雌のズワイガニ(セコガニ)も珍味です。



国内有数の 高級和牛

但馬ビーフ
全国に名をはせる唯一無二の高級ブランド牛で、鮮やかなサシの入った霜降り肉が特長です。



Specialties 特産

Our nationally famous Tajima beef, pine needle crab in winter, and firefly squid in spring are the specialties of Shin-onsen-cho. Many other delicacies from land and sea can also be enjoyed.

自然の恵みを 活かした逸品



浜坂ちくわ

水産加工業が盛んな新温泉町らしい名物。トビウオを原料とした「あごちくわ」もあります。

スルメ、一夜干し
新鮮なイカや魚を天日に干すことで旨みが一層増します。噛むほど磯の香りが口中に広がり、絶品です。



岸田川のヤマメ

岸田川では平成5年度より「サクラマス」の里づくり事業でヤマメの放流が行われています。



二十世紀梨

シャキッとした食感とみずみずしい果肉が魅力の秋の味覚です。



春の訪れを 告げる味

ホタルイカ
ひと口サイズでほのかな甘みが口中に広がります。シーズン中にホタルイカまつりが行われます。



魚介類

一年を通じて、海の町ならではの豊富で新鮮な魚介類が揃います。



こころ豊かに 夢を育む



海での自然学校

すべての住民が生涯にわたり生き生きと輝くよう、新温泉町では「こころ豊かな人づくり」を教育理念として学校教育、社会教育の充実を推進しています。

**子どもたちの創造性、
生きる力の育成に取り組み、
学校教育**

子どもたちの「確かな学力の定着」や「個性や創造性の伸長」などを目指し、少人数学習への取り組みや読書タイムを設けるなど学びの機会を充実し、学習習慣を身につける工夫を行っています。

また、「生きる力」の育成を目的に、小学校の「自然学校」や中学校の「トライヤル・ウィーク」を推進すると共に、子どもたちの郷土愛を育成するため、総合的な学習の時間を利用し、「伝統文化の継承や地域住民との交流を目的とした「ふるさと教育」を実施しています。

障がいのある子どもたちへの教育体制は、関係機関との連携・協力を密にしながら校内における推進体制の整備を促進しています。幼稚園教育では、心身ともに調和のとれた発達の基礎を培う重要な時期である



留学生を招いての伝統文化の体験事業



互いの文化に触れるホームステイ



以命亭押し花絵教室



麒麟獅子マラソン大会



ふれあいビーチサッカー大会

住民の豊かな情操性を培う 社会教育活動

ることを踏まえ、幼児の発達の実態に即した教育課程の編成・指導を行っています。また、高度情報化社会に対応した情報教育や外国人英語指導助手（ALT）を招いての国際理解教育の充実を図っています。国際理解教育の一環として、国際化に対応できる人材育成を目的に、中学生などが新温泉町とニュージーランドを相互に訪れ、地域の人々との交流や文化に触れることで豊かな国際感覚を培っています。

さらに、国際交流協会の主催する雪国ホームステイでは、毎年、フィジーの南太平洋大学の留学生を招き、日本古来の伝統文化である茶道や日本舞踊、餅つきなどの体験事業を行っています。その他にも韓国語教室や英会話教室を行うなど、これらの交流事業は、子どもたちはもちろん地域住民の国際的な相互理解の醸成にも繋がっています。

住民の学習の選択肢が広がるように、創意工夫を凝らした魅力ある学習メニューを展開し、生涯学習を推進しています。学習・地域コミュニティ活動の拠点である加藤文太郎記念図書館や浜坂先人記念館「以命亭」、八田コミュニティセンター、各地区公民館を有効に活用しています。高齢者には、生きがいのある充実した生活を営み、豊かな情操を培うことを目的として高齢者大学「宇都野学園」「とちのみ学園」を開設し、年間を通じて継続的な学習活動を行うと共に会員相互の交流を深める活動も行っていきます。

その他、麒麟獅子マラソン大会や美しい



自然体験教室



加藤文太郎記念図書館

Our education philosophy aims to produce warm-hearted and healthy citizens. In the hope that people can live full and satisfying lives, we put an emphasis on school and lifelong education.

Above all things we aim to promote the medical care and welfare of our people through our organizations to ensure healthy lives. A great effort is being put into health services at Hamasaka Hospital, Sasayuri Elderly Facility, the Hamasaka Health Center and Sukoyakaani Welfare Facility.



親子での絵本作り教室



乳幼児健診



介護老人保健施設ささゆり



健康で 温もりあふれる 安心な地域

公立浜坂病院が、さらなる医療ニーズに対応するために併設した介護老人保健施設ささゆり

公立浜坂病院は、昭和33年7月に公立豊岡病院浜坂分院として開設し、昭和58年の新築移転を経て現在に至り、地域の中核病院として、また住民の健康を守る医療機関として安心して受診できる病院づくりに努めています。

今後も住民の健康な生活を支えるため、地域医療の発展と信頼される病院を目指します。

また、介護が必要な高齢者が急増する中、緊急課題となっていた医療および福祉のニーズに対応できる施設として平成10年10月に併設した介護老人保健施設ささゆりで

住民の健やかな生活の維持に、医療・福祉・保健の充実が欠かせません。地域の中核病院として長年その役割を果たしている公立浜坂病院をはじめ、介護老人保健施設ささゆりや保健福祉センターすこやか〜などに、時代に即した施設を整備しています。

は、病状が安定し、入院治療を必要としなくなった要支援、または要介護状態と認定された方を対象とし、看護やリハビリテーション、介護・身の回りのお世話などのサービスを提供しています。そして、月に一度の誕生日会、お花見や七夕会、夏祭りなどの季節感あふれる行事や、音楽会や映画鑑賞会などの文化活動を取り入れた行事を定期的に行っています。行事によっては保育所の園児や婦人会の方々にボランティアで参加していただき、地域住民とのふれあいも図っています。



施設での入浴サービス

地域・関係機関との連携体制のもとに展開される、特色のある健康づくり

少子高齢化社会を迎え、保健や福祉に対するニーズが益々高まる中、子どもの健やかな成長を願い、また高齢者の健康寿命の延伸を目指した健康づくりを医療機関や関係団体などの協力を得ながらすすめています。

新温泉町では、現在、保健福祉センターすこやか〜を拠点に乳幼児健診、子育て支援、食育、予防接種、生活習慣病予防のための健診、心身の健康相談、健康教育、訪問指導、高齢者の介護予防などライフステージに応じた総合的なサービスの提供に努めています。

学校保健においては、中学生を対象として、赤ちゃんとのおふれあいを通し、命の尊さや母性・父性の涵養を学ぶ事を目的とした「思春期ふれあい体験学習」も実施しています。



思春期ふれあい体験学習



通所者のリハビリ活動

また、住民と行政が協働した健康づくりを進めるために、母子保健推進員の活動があります。就学前の子を持つ母を対象とし、たよりの発行や母子保健事業の案内など、地域の親子とのコミュニケーションを推進しています。

高齢者においても、社会参加や交流、健康づくりを目的とした地域活動への支援も実施しています。

このような事業を展開し、住民とともに健康づくりを推進する町を目指します。



保健福祉センターすこやか〜



大阪での雪のイベント



ふるさとおんせん会「ふるさと便」



久斗山創造の森ふれあい祭り

Communication
交流

We have many events incorporating our specialties, natural environment and culture. These are wonderful opportunities for local people and visitors to meet and communicate.



浜坂みなとカニ祭り



但馬「牛まつり」

交流と連携で 活力を高める

新温泉町には特産品や自然・文化を融合させた数々のイベントがあり、それらは、町内はもとより京阪神を中心とした都市部との人的交流を促進する重要な役割を担っています。

新温泉町のPRに
大きく寄与する、
住民が主体となった
数々のイベント

「カニ元浜坂」を宣言する浜坂観光協会や漁協などが行う「浜坂みなとカニ祭り」は、町を代表する大イベントです。当日は、カニ汁の無料サービスや新鮮な魚介類の販売、カニにちなんだアトラクションなどが行われ、町内外から多くの来場者があり、新温泉町の魅力を広くPRする機会になっています。会場となる浜坂漁港では春には「ほたるいか祭り」が開催され、その他にも兵庫県立但馬牧場公園での「但馬・牛まつり」や「牧場公園感謝祭」、湯村温泉街を舞台に展開する「全日本かくれんぼ大会」があります。

各地区で開催される住民主体の地域イベントも多くあります。平成3年に久斗山地区住民が神戸市の「ブナを植える会」と共にブナを植樹したのをきっかけに始まった「久斗山創造の森ふれあい祭り」や、新緑の美しい公園を舞台に行われる春來地区の「春來椿山公園祭り」、「石橋池たらい漕ぎ競争」、「青下天満宮・天神祭り」などがあります。

また、交流手段を新温泉町でのイベントだけに留めずさらなる観光振興の充実、活性化を図るために、新温泉町では町出身者が町の自然や歴史、文化、その他の観光資源を積極的にPRする「観光大使」制度（公募制）を実施しています。さらに、地元特産品の発送や町内観光施設の利用割引が受けられる「ふるさとおんせん会」、大阪・神戸などでのPRイベントがあり、多くの人々との交流が広がっています。

行政レベルの交流促進では、鳥取県と兵庫県に接する鳥取県因幡地域の鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町と兵庫県但馬地域の香美町、新温泉町の1市5町で構成する「因但県境自治体会議（コリドー21）」をはじめ、「但馬定住自立圏」、「鳥取・因幡定住自立圏」など県境の壁を越えた経済、文化の連携・交流を通じて、各市町の発展と圏域の振興を図っています。



全日本かくれんぼ大会



生活環境

Living condition

Our town recognizes the link between a healthy environment and healthy people and so emphasizes environmental preservation.



東浜居組道路（七坂トンネル）



JR 浜坂駅



浜坂浄化センター



公営住宅（井土団地）



CATV(夢ネット)

利便性と うるおいの ある環境

住民がこれからも有意義で快適な生活を
送られるよう、新温泉町ではさまざまな
利便性の向上や環境保全に努めています。

時代のニーズに対応した、 生活基盤の整備事業

通勤や通学、近隣市町への往来に利用さ
れる交通基盤は、住民の利便性の確保と広
域的な地域間交流を促進する重要な役割を
担っています。

新温泉町では、国道9号と178号の基幹
道路を軸に、県道や町道、さらに農道、林道
で形成されている道路の利便性・安全性の
確保を図るために交差点改良や幅員拡幅・
歩道整備などを進めています。また、日本海
沿岸を東西に走る鉄道、町内や近隣市町、さ
らに京阪神への直通便を設けるバスなどの
公共交通機関は、住民が生活する上でなくて
はならないものとなっています。

下水道に関しては衛生的で快適な生活環
境の実現と、川や海などの汚染を防止する
ために下水道の整備を行いました。

その他、流出人口の歯止めや転入人口の
増加策としての公営住宅の設置、町の情報
基盤としてテレビ放送やインターネット、

ケーブル電話サービスなどを行うCATV
(夢ネット)も開設しています。

新温泉町独自の景観の保全・整備にも取
り組んでいます。日本海に注ぐ岸田川の河
口付近には、清流・味原川に沿って造り酒
屋や縫い針生産で栄えた古い町並みが残っ
ています。現在も往時を偲ばせる旧家や石
垣などが並ぶ歩道は、あじはら小径として
整備され、近畿自然歩道日本海沿岸ルート
の一つに指定されています。また、湯村温
泉街の中心地は、県の「まちなか景観形成
地区」に指定され、温泉情緒が漂う独自の
景観を活かし、春來川に架かる橋のライト
アップ事業や川沿いの歩道は、潤いのある
空間を創出しています。

新温泉町では、このように町内のさまざ
まな生活環境に関する保全・整備を進める
一方、「恒久平和の町」を宣言し、非核三
原則の堅持と恒久平和の実現を願い、戦争
のない明るく幸せな生活を守る決意を表明
しています。



湯村温泉街



あじはら小径

住民一人ひとりが知恵を出し、 地域の特性を活かした 魅力的な町づくり

新温泉町では、すべての住民が安心・安
全に暮らせる住みよいまちづくりに努め、犯
罪や災害から地域住民を守るために、日こ
ろから防犯パトロールや防災訓練などの活
動を通して、快適な環境づくりを進めてい
ます。特に最近では全国的に青少年に対する
犯罪が頻発に発生していることから、住民
が自主的に実施してきたパトロールの充実
を図るために、新温泉町青少年育成推進協
議会では地域と学校の連携のもと、「青年
パトロール隊」を編成し、さらなる地域
の安全確保に取り組んでいます。

また、災害に強い町づくりを推進してい
くために、自然環境との共生を柱に、岸田
川などの河川の整備をはじめとした治水・
治山対策、冬期の雪害防止、防災訓練や防
災知識の普及などに努めています。



婦人会の子ども見守りパトロール



プランターへの植栽

これら防災、防犯活動に加えて、沿道の
花木栽培を通しての美化活動も行っており、
この取り組みは、住民の花や樹木、地域を
慈しむ心を通じての人間社会における「思
いやりの心」の育成にも繋がっています。

We believe that the collaboration
between the town and its citizens is
vital for our development.
We therefore pursue policies in
public works, crime prevention,
disaster prevention and environmental
preservation.

行政

Administration

自立と協働の 自治体経営

行政と住民による協働のまちづくりは、
堅実な自治体経営に不可欠な要素です。
新温泉町では、住民と共に、防犯、防災
体制の整備、環境美化活動を通して住み
よいまちづくりを進めています。

新温泉町



議会

Assembly



町政に関する議決機関である新温泉町議会は、町民の代表である16人の議員によって構成されています。議会には定例会と臨時会があり、定例会は年に4回（3、6、9、12月）、臨時会は必要に応じて開かれています。また、総務教育、

産業建設、環境福祉の3つの常任委員会と議会運営委員会・議会広報調査特別委員会を設置しています。議会の会議は一般に公開されており、議員の活動や施策方針などを実際に見聞することができます。

「落葉―生命の循環―」

いくとせの前の落葉の上にまた落葉かさなり落葉かさなる

この歌は、歌人前田純孝（1880～1911年）の代表的な歌で、命には始まりがあり必ず終わりがあるという死への諦観を感じさせるとともに、生命が循環していることを見事に歌っています。純孝は生涯二千首にも及ぶ短歌を遺しています。病床の晩年には、自分の限られた命を「落葉」に投影した歌を多くつくりました。

さて、落葉と言えば、純孝が没してその13年後に生まれたレオ・プスカリア（1924～1998年）の絵本「葉っぱのフレディ」も有名です。

春に生まれた葉っぱが、冬に散るまでの短い生命を通して、いのちの尊さを描くと同時に、その散った葉っぱの栄養分が、また新しい葉っぱを生み、いのちは永遠に続いていく…という、生命の循環、地球環境



新温泉町長
岡本英樹

までも描いている『いのち』の物語です。

日本の明治の歌人とアメリカの教育学者とが奇しくも落葉をテーマに『いのち』を表現しました。ずっと昔の祖先から受け継ぎ、未来の子孫へと受け渡していく命。以前の誰かがいなくなっても存在できない命、この自分があつて初めて出会える命を。

私たちのまちは、日本海の形成を物語る壮大な山陰海岸、緑の山河、日本有数の温泉など豊かな自然に恵まれました。自然と共生して文化を育んできました。今を生きる私たちは、この豊かな自然、命の尊重とそのつながりを未来の子孫へ引き継いでいく責任があります。

表紙の文字「創」は、これも本町出身の書道家宇野雪村先生の書です。住民の皆様との協働により、住みよい誇れるまちを「創」って行きましょう。